



No.17 17. NOVEMBER 1975

Kainan East Rotary

DISTRICT 366

CLUB WEEEEKLY BULLETIN

事務所 海南省日方1294 海南商工会議所内 T E L (07348) 2-4363

例会日 每週月曜日 12時30分 於海南商工会議所 4 F ホール

会長 前窪紀文 幹事 田岡啓一 会報委員長 河尻鳩親

第17回 例会 昭和50年11月17日(月) 於 海南商工会議所

1. 開会司会 松田一郎

2. ロータリーソング 「手に手つないで」

3. 昼食

4. 出席率 会員総数25名 出席者数24名 96%

5. ビジター 玉置整三氏 (和歌山東R.C.)

6. メイキャップ 裏野泰生君 (11月8日 蒲郡R.C.)

7. 会長報告

- 海南R.C.との合同バザーに御出席頂き、御協力下さいまして、有難う御座いました。売上金315,945円(寄付金は含まず)は、別途会計にして、海南R.C.の林さんの方で必要なときまで預かって頂きます。
- 51年2月2日(月)ガバナーの公式訪問について……資料に基づき今迄の業績等をまとめて頂き報告出来る様、報告書の作成と心づもりをしておいて下さい。
- 和歌山東南R.C.のインタークトクラブ・チャーターナイトへの御祝の礼状が来ています。

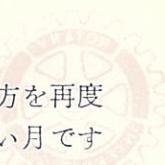
8. 幹事報告

- 例会の変更通知 ※吹田北R.C. 12月9日(火)を12月13日(土)に17時~18時(日時の変更)

※和歌山東R.C. 12月4日 12時30分~長安閣(経済センター8F)
(場所の変更)

- 12月13日(土)開催のI.C.G.F.の資料をお目通し願いたい。
- 会員増強の件……本日が推せん書提出の期日ですので、事務局へお渡し下さい。
- 12月13日(土) I.C.G.F.(海南R.C.ホスト)の件
海南R.C.に於いても新入会員は全員御出席される由、当クラブも新

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING 人間に威信を!



しいクラブとして全員の御参加をお願いします。とくと出席方を再度に亘って海南クラブから要請されています。12月という忙しい月ですが何とか御出席下さい。本日、登録の〆切日になっていますので、欠席される方は、今日中に理由をつけて事務局へ届けて下さい。

- 登録料はクラブで負担します。
- 参加クラブは、海南、海南東、有田、御坊、田辺、田辺東、白浜、串本、那智勝浦、新宮の各R.C
- 年次総会（予定）12月22日（月）……次年度役員承認等……
- 例会について、お気付の点ありましたら御意見頂いて、今後の参考にして進めていきたいと思います。
- 今晚7時30分より臨時理事会を開催します理事の方は御参集下さい。

9. ニコニコ箱

会員誕生日 奥村匡敏君11/14 谷井昭三君11/20 田岡啓一君11/28

結婚記念日 11/3 片山君、11/3 松田一君、11/11 松田易君、
11/11 山県君、11/12 奥村君、11/16 楠部君

※ 上田君、山本君、角谷君、裏野君、中村君、上南君、
田岡君、谷井君、垣内君、島村君、河尻君（順不同）

10. 委員会報告

- ◆ 坂上社会奉仕委員長……昨日はお休みのところバザーに御協力頂き有難う御座いました。お蔭様で大成功でした。
- ◆ 島村世界社会奉仕委員長 アンケートのお願い。
御承知の如く、海南R.C の姉妹クラブ・サニベールR.C 会員の米元 健氏を通じて「先に吾々が訪問したのだから、創立50周年に当る来年は皆様是非来て戴きたい」と案内されております。
又、アメリカ・ルイジアナ州ニューオーリンズでロータリー国際大会も開催されますので、この機会に吾々多数の会員でアメリカを周遊したいと思います。ついては別紙の如きアンケートをお配り致しますから、ご記入下されなく存じます。 12月1日まで事務局へ尚、出来れば当クラブと海南R.C で一団体（15人以上）を結成し団体割引きで格安の肩の凝らない旅行をしたいと思います。
- ※ コースは東京発→ロスアンゼルス着→ニューオーリンズ6月13日
→カリブ海、マヤ遺跡→サンフランシスコ（周辺）サニベール
→ハワイ→東京
- ◆ 柳川国際奉仕委員長……R.I. アジアオ3ゾーン・インター
ディストリクト・ミーティングに出席して、1975. 6. NOV.
- 国際ロータリー会長・エルネスト・インバッサイ・デ・メロ氏
歓迎会 於京都国際会館
- 講演要旨
会場内の人たち、京都人に対しての挨拶 365 地区ガバナー千宗室氏への歓迎会開催に対する礼、アジアオ3ゾーン地区の国際ロータリー事業に対しての賞讃について

茶の幻想を基調とする幽幻の京都、自身を滅却して人の子に奉仕する。茶作法の礼儀から日本人の真面目さを活し、この真面目さが勤勉に連がり、この勤勉さが日本の国を世界の経済大国に大成させた源泉である事を讃えた。

日本は古く中国から新しく西洋からと二度門戸を開いて、その入り来った文物を取捨選択すると共に、日本独特のものを作り出す自主性を持っていた。日本人は日本の又他の國の人はその國の文化を築いて來たのであるが、一体その人種の一人一人の人間と云うものはどの位の価値があるものだろうかと云う人間問題に触れて来る。

人間を化学的に分析すると、石鹼一箇分の脂肪 釘一本に充たない鉄分、マッチ一本の頭についている発火部分を担当する硝酸、硫黄等でその価値は米国の98セントの貨幣価値に当たると云われて來たのであるが、原子爆弾が発明されるに及んで人間がその創造性をも含めて持つ潜在的エネルギーを価値判断の基礎にしようとするようになって來ている。例えば80Kgの人間が持つその潜在的エネルギーは8.5億ドル分の価値に換算出来ると考えられるようになって來た。これは単に98セントから8.5億ドルになった人間の物質的な価値であるがこの拡大された価値に甘んじて居て良いものだろうか。

人間は科学的物質的なものでなくもっと違った処で、即ち崇高な人間性の問題で考えてゆかねばならない人間性の価値は個々人が家族に対して同僚に対して国家、人類、神に対して如何程努力し世の中に貢献するかによって決定されてゆくものである。

現代人間相互に偏見を持ち疎外視し合い、いがみ合い、人間の威信が地に墜ちている。この様な時にこそ私の掲げた、ターゲット『人間に威信を』の理念が遵守され、実行されねばならないと信ずる人間性の回復は個々人の努力によって得られるもので、決して手をこまねいていて獲得出来るものではありません。

日本のロータリアンは国際ロータリーの理念に忠実であり又精力的に実行に移して居ることに感服して居る。このような日本の皆様には私のターゲットを確実に実行していただけるものと信じます。

ドイツの或る大学に於いて、教授と日本人留学生の対話を例に『人間が大成する要因について』の質疑に応じた教授は、学業の良く出来ると云うことでは無く常に科学的、精神的な不足不満を感じそれを充たす為、想像力を生かしもう一つの創造力を以って努力し続けることを挙げたと云われる。

吾々ロータリアンは活動する人間の集団である、率先して事を成し遂げることを目標とするロータリー創始の理念は時代、世界、人類等種々の変遷に拘らず生き続けている。

ここで又京都大学哲学科に於ける例を取り『人間が生きる目的、についての定義を『創造と愛』であることを主唱した話をする。この考え方は全くロータリーの理念である『理解と創造と愛』と全く同じである。

現在のような危険いっぱいの時代にあって、吾々ロータリアンは心と力を合わせて緩急自在に同一の目標に向って進んで行かねばならない。

国際ロータリー創始者はR.I.の定義を海のようなものだと云ったことがある。大海の底にはgood willと友愛の精神と云う大きな財宝が悠然と横たわっている。今吾々ロータリアンは心新たに力と心を合わせ、この大きな財宝を手に入れるべく決意と情熱を以て、船を大海に乗り出し進んでゆこうではありませんか。

◎ 第二副会長 シェラー氏 御挨拶（一部抜すい）

日本には宴会又は会食の前に、テーブルスピーチを行なう良い習慣があります。講演する人も聞いている人も、お腹が減って、早く終ればよいと思って、一生懸命講演の時間を切詰めることに努力します。私はこの良い習慣を、この土地の風習のために重んじます。Thank you

◆ 岡田情報委員長（3分間スピーチ）

◎ ロータリーの目的は何か？

ロータリーの目的は有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成するにある。

これを簡単に一言で申しますと、ロータリアン銘々が常にサービスの精神を守り抜くということです。ロータリークラブは実業家とか専門職業人のクラブで仕事のない人は会員になれない建前です。

人間が1日24時間の中、睡眠時間刨いて半分以上の時間は、仕事に当っている、どんな職業でも他人の役に立っているわけである。仕事をするのは自分の生活の金を稼ぐためだとばかり考えている人はロータリアンの中にはいない筈だ。といわれています。

◎ サービスの精神とは、どんなものか？

奉仕の理想がそれに當るわけで、サービスという言葉には、いろいろ解釈の仕方がありますが、ロータリーで言うサービスとは、他人の事を考えて人様のお役に立つこと。

理想というのは、思想が完全な域に達した、ということで、英語ではideaが完全化されてideal、サービスの実践の方法として、ロータリーには二つのモットーがあります。その一つはサービスオーファー自分が第一、もう一つは、最もよくサービスするものが最も多く報いられる。

◎ 次回例会

昭和50年12月1日（月曜日）12時30分～ 於海南商工会議所

ゲスト 和歌山保護観察所長 和田敏男氏「保護観察について」

昭和50年12月8日（月曜日）12時30分～ 於 海南商工会議所